



西野まさひと

活動報告 NO.17

ハッキリ言います! 市政にひとこと!

【ホームページ】<http://www.nishino1.com/> 「東光寺のカタクリ」詳しくはHPで!



西野まさひと友の会では平成21年3月日野市議会における主な内容と西野議員の一般質問についてご報告致します!



世界の人々が訪れる日野の街づくり!

P2

平成21年度予算総括!

P3

西野議員一般質問

P4

西野議員一般質問
市長選挙結果報告



風通しの良い市政運営を!

さて、馬場市政を支える中心与党の一員としてあえて苦言を呈すならば、長期政権ならではの課題も抱えています。まず組織の硬直化・権力の集中からくる弊害などです。そして、世界的な経済危機による緊迫した財政状況です。このようなときだからこそ、市政運営には柔軟で迅速な対応が必要とされます。今回の三月議会では、与党議員としては厳しい質問もいたしました。議会との連携を密にし風通しの良い市政の体制・体質づくりが必要だと考えます。

財政は緊急事態! 馬場市政懸念な選択

日野市は世界に誇る先端技術産業を有し、工業生産都市として市政の大きな支えとなっていました。しかし、今回の世界的な不況は、工業製品を輸出して収益を上げている日本の企業にとつては大きな痛手です。その影響は早くも市政に影を落とすはじめ、平成21年度の法人市民税収入は約13億円、前年比約12億円の減(約48%減)ピーク時(平成18年)の約三分の一にまで落ち込んでいます。製造業が主体の日野市では企業収益の悪化は来年度の方が深刻です。減収や企業の市外移転、雇用・所得の悪化による個人市民税の減収も避けられないでしょう。まさに緊急事態といえます。これらの状況を踏まえ馬場市政では平成20年度予算において「ふれあいホール」建設工事の休止、市長等特別職給与月額額の減額を、平成21年度予算では経常経費10%の削減を実行いたしました。

ふれあいホール
建設工事の
休止!

経常経費
10%の
削減!

市長等特別職
給料月額
減額!

とりわけ、「ふれあいホール」の建設休止は市民が待ち望んでいた施設でもあり残念ですが、財政負担を回避する馬場市政の迅速な対応を高く評価します。

日野市議会議員 西野正人

前年度比
2.1%減
約10億円の減額

民生費は
福祉関係の予算
緊縮財政でも
増額!

小中学校舎
耐震工事了
により予算を
大幅減額!

前年度比
1.8%減
約16億円の減額

一般会計
衛生費から
赤字分約7億円
補填!

一般会計 483.6億円

款 区 分	平成21年度当初	増減率%
議 会 費	4億 895万円	1.4
総 務 費	54億3285万円	7.2
民 生 費	203億5072万円	1.2
衛 生 費	46億 338万円	-2.1
労 働 費	6843万円	-18.9
農 業 費	1億1303万円	-5.8
商 工 費	3億6109万円	-15.0
土 木 費	43億1573万円	-1.9
消 防 費	20億6512万円	0.6
教 育 費	69億 461万円	-19.5
公 債 費	32億2991万円	0.5
諸 支 出 費	2億 612万円	-5.4
予 備 費	3億 円	900

特別会計 439.7億円

会 計 名	平成21年度当初	増減率%
国民健康保険	153億5400万円	-2.7
土地区画整理事業	42億4951万円	0.1
下 水 道 事 業	53億 3168万円	-3.2
病 院 事 業	77億4477万円	-2.1
老 人 保 健	2990万円	-97.2
介 護 保 険	87億6048万円	24.8
後期高齢者医療特別会計	25億467万円	2.4
受託水道事業	0円	



今年度緊縮予算でも福祉サービスを向上!

日野市の今年度の歳入面での危機的状況は本紙冒頭でお伝えしました。なかでも繰入金金は、これまで堅調に蓄えた財政調整基金を取り崩し約18・8億円(昨年比81%増)の大幅増で対処しています。このような基金取り崩しによる補填はあと一年しか出来ませんので、景気回復が切望されます。

歳出面では一般会計では約10億円、特別会計では約16億円を削減しています。しかし、馬場市政ではこの状況でも市民サービスを低下させず予算を編成いたしました。一般会計における民生費(生活保護・高齢者福祉・障害者福祉・児

童福祉・ひとり親家庭への福祉他福祉関係の予算もこれだけの緊縮財政のなかプラス1.2%増額となっています。

教育費においては前年比マイナス19・5%の大幅削減になっています。これは、日野市内の小・中学校舎の耐震補強工事を昨年度で終了したためです。首都直下地震に対する備えを早急に対処し子どもたちの安心・安全を早々に確保した結果です。

しかし、衛生費から赤字経営の市立病院に約7億円の財政補填をするなど課題もありますので、市立病院改革プランの成果に期待します。

ハッキリ言って、ここがポイント!

馬場市政では、これまで市民の健康維持管理に地道な改革と取り組みを行って来ました。さらに景気後退に対処するため自治体として「あんしん力アップ」を挙げ、今年度の予算では主に次の項目で取り組んでいます。

- セーフティネットコールセンターによる雇用支援
- 市立病院改革プランの実施
- 高齢者健康施策の充実
- 障害者支援(障害児放課後クラブ運営や就労支援施策の推進)
- 子育て支援施策の充実(1・2歳児の待機児への緊急対策として民間保育所の開設)
- 小・中学校屋内運動場の耐震補強工事

馬場市政の時代の要求に応じた素早い対応力は高く評価をして良いと思います。

市民のあんしん力を高めよう

日野市が今年度の主要事業として「市民のあんしん力を高めよう」として取り組んでいます。今、国は景気回復の基本施策として、雇用に対する不安・介護に対する不安・医療に対する不安を解消しようとして遅ればせながら取り組んでいます。消費を控える主因は主にこの3つの不安によるものです。

雇用・介護・医療は安心の3本柱

質問
2-1

東京都に移管される水道事業について問う

防災マニュアルの早期整備実現を！



これまで日野市で行っていた水道事業は平成18年度より徴収系系業務を、給水装置系業務は平成19年度より、施設管理系業務は平成21年度より完全に東京都に移管されます。

一年前の平成20年3月議会で、業務移管後の災害時の対策について質問をしました。当時の市の答弁は、「業務移行に伴い東京都と早急に検討する」とのことでした。あれから早くも一年がたちましたので、再び今回質問をしました。

水道業務の東京都への移管により 防災対策の空白を作るな！

これまでは市で水道業務を直接行っていたので、市の防災マニュアルと整合させ対策を行って来ましたが、東京都の水道局に受け継ぎを行い詳細のマニュアルを作成中とのことでした。これが明確になれば、連絡方法、作業手順、人員確保、緊急車両体制、市の対応方法等が具体化するため、防災課と取りまとめ作業を行っています。

業務移管によって防災対策に空白が発生してはなりませんので、平成20年度中の防災マニュアル完成を強く申し入れました。

質問
2-2

財政非常事態宣言における諸施策と諸問題について問う

エコひきな街づくりモデル街区の成功を！



日野市の財政的危機に対処するための一つの施策として日野市は市有財産不要地の売却を行ってまいりましたが、市では環境対策と併せて「エコひきな街づくりモデル街区」事業を行っています。この事業の進捗状況と今後の対策について質問いたしました。

栄町3丁目の市営住宅跡地に省エネルギー住宅の普及を推進するため、「日野市エコ住宅仕様書」に基づいた住宅建設には、太陽光発電システムの設置や土地価格の割引の特典を設け、全12区画の土地売却を行っています。昨年10月に販売を開始したところ6件以上の区画に申し込みがありましたが、結果的に契約されたのは2件のみでした。販売盛況に至らなかった主な理由は価格が高いとのことでした。

販売促進に努力と工夫を！

今回の質問では、今後の販売への取り組みについていただきました。市では仕様書の内容見直しや販売方法の検討、住宅メーカーの参入等を行うとのことですが、現在、経済の状況は最悪と言っても良いでしょう。しかし、市場のニーズに合わせる企画でこの状況を打開することを願います。

質問
2-2

財政非常事態宣言における諸施策と諸問題について問う

浅川公会堂建設予定地の売却について



20号バイパス沿いにある「浅川公会堂予定地」（万願寺6丁目31地内）に、現在、「売却予定市有地」の看板がかかっています。この土地も売却の方向で検討しているとのことですが、当初この土地は万願寺土地区画整理事業のなかで多くの地権者が「浅川公会堂」を建てるということで了解し生み出されたものです。この看板を近隣の方が見て、当時の地権者に何の相談もなく売却するのはおかしいのではとの声が寄せられています。これまでの経緯から至極当然のことと思います。

市有地売却には市民の理解を得られるプロセスを

今回の質問ではこの経緯と現在の状況、これからの計画についていただきました。市では20号バイパスの開通により日野市民会館への交通の利便性が向上し、近隣に交流センター等の文化施設が整備されたことから公会堂の必要性は無くなったと考えています。なお、土地取得の経緯をふまえ地域の方に還元できる土地活用を検討し、必要に応じプロジェクトチームや委員会組織での検討や市民意見の聴取などを経て判断し決定を行うとのことですが。

現状では市有地売却に議会の承認等の手続きは法的に必要なことですが、近隣住民及び市民の理解を得られるような努力とプロセスが必要です。

質問
2-2

財政非常事態宣言における諸施策と諸問題について問う

カワセミ商品券の改良と早期発行を！

各商業団体との連携で加盟店拡大を！

日野市のプレミアム付きカワセミ商品券は、昨年7月と12月に実施され、緊急景気対策としてこれまでも好評を得ています。

先の国会で決定された定額給付金の給付に伴い、全国の自治体で商品券の発行を検討していますが、日野市でも早々に4月11日発行の決定を行いました。



市民要望への素早い対応を高く評価！

これまでの規模をはるかに上回る総額2億3千万円の発行額となり、プレミアムを15%、中小店舗限定券の割合を6割まで大幅に拡充いたしました。また、これまでの経験から、発売と同時に売り切れ購入希望者に行き渡らないということがないように、購入限度額を一人10万円から5万円に引き下げました。さらに、障害をお持ちの方に配慮した専用販売所を設置するなど市民要望への素早い対応に最大限の評価を送ります。

中小店舗限定券の取扱店舗をこれまでの190から460店舗に大幅拡大し500店舗に向け拡充を図っています。今後予想される景気の悪化は深刻です。自治体としての、景気対策にさらに期待が寄せられる事とします。特に厳しい経営状況にある中小店舗を支援するため市内の各商業団体としっかりと連携をとり、さらに加盟店を拡大し、市民にとって使い勝手の良いものにして頂きたいと思えます。

質問
2-2

財政非常事態宣言における諸施策と諸問題について問う

ごみ収集委託等における経費節減を問う

市は適正な積算能力を維持せよ！

今議会でごみ収集委託等の単価の算出方法について質問いたしました。今年度予算の衛生費は前年度比マイナス2.1%と約9千7百万円の削減となりましたが、その主因はごみ収集委託単価の引き下げによるものです。

日野市は平成20年度においては7.5%引き下げ、本年度においては数パーセントさらに引き下げようとしています。一見日野市民にとって歓迎すべきことと思われます。



単価引き下げの積算根拠に疑問！

しかし、このことは、積算根拠の各単価が下がったか、または各単価を積み上げたら総価が下がったということになります。経費削減の趣旨はわかりませんが、市が削減の努力やシステムの变更など、正当な根拠があれば可能ですが、根拠もなく単価を引き下げ続けるのなら問題があります。

市の積算能力が衰え、根拠もなく単価の引き下げを押し付けるとするなら、末端の働く人にしわ寄せを強いていることとなります。実態を伴わない委託業務は結果的に業務の破綻や、トラブルを招くでしょう。ごみ収集の委託業務だけでなく、他の委託事業においても、経費削減目標のみが先行し、発注単価が引き下げ続けられる事態が見受けられます。地元企業の健全育成を掲げるなら、適正な積算能力を市が維持することが管理者としての当然の責務です。

堂々四期目の当選



53.8%

投票者の過半数を超える！
馬場市政に市民の信任！

今回の選挙は、当初、対立候補がなく無投票に終わるのではと思われる状況でしたが、突如それまで馬場与党として市長支持を表明していた渡辺市議が造反し、これまでの保革一騎打ちの選挙ではなく、形は保守分裂選挙となりました。

渡辺市議は多選批判を、くぼた候補は全体的に準備不足で市政の将来像を示せぬまま選挙を迎えたと思われます。政策的な争点は見えず、結果的には馬場市政に対する信任選挙となりました。投票率は前回より3.43ポイント上昇し46.58%、50%を越えませんでした。市民の関心の高さを示していると言えるでしょう。

■日野地長選挙結果

馬場ひろみち

35,059票 (53.8%)

くぼた之喜

19,228票 (29.5%)

渡辺 眞

9,909票 (15.2%)

投票者数 65,111名

投票率 46.58%

前回投票率 43.15%

